

- 問1 九州地方の最北端に位置する福岡県北九州市は、海を隔てて本州と隣接しており、交通の要所となっています。この北九州市から見て、対岸の本州側の最西端に位置する県はどこですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 福岡県 2. 島根県 3. 山口県 4. 広島県
- 問2 香川県の讃岐平野では、「大池」や「新池」といった名称の池が平野部に数多く散在しています。これらの池は「ため池」と呼ばれますが、この地域でため池が古くから多く作られてきた理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 大規模な河川が平野部を流れておらず、雪解け水を利用することができないため、地下水を汲み上げる必要があったから。
2. 標高が海面よりも低い土地が多く、高潮による塩害を防ぐために真水を蓄えておく必要があったから。
3. 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。
4. 年間を通じて台風の通り道にあたり、一時的な豪雨による洪水被害を防ぐための遊水地として機能させる必要があったから。
- 問3 高知県橋原町などで見られるような、山の斜面などの傾斜地を利用して階段状に作られた水田の名称として適切なものを選びなさい。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 輪中 2. 棚田 3. 干拓地 4. 段々畑
- 問4 四国地方における交通網の整備とその影響について述べた次の文のうち、1985年から2015年の交通手段別利用者数の推移から読み取れる状況として、歴史的背景をふまえて正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 航空機の大規模化と空港の整備が進んだ結果、自動車を上回るペースで航空機の利用者数が推移している
2. 瀬戸大橋の開通によって鉄道の利便性が飛躍的に高まったため、2015年時点では鉄道が最大のシェアを占めている
3. 橋の開通によって船舶の利用価値が見直され、自動車と船舶を併用する利用者が2015年にかけて倍増している
4. 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある
- 問5 四国地方に位置する4つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県が2つあります。その県名と、それぞれの県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 愛媛県（高松市）と香川県（松山市）
2. 香川県（高松市）と高知県（高知市）
3. 徳島県（徳島市）と愛媛県（松山市）
4. 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）
- 問6 山口県的美祢市付近には、日本を代表するカルスト地形である秋吉台が広がっている。このような独特の景観が形成された理由と、その後の利用について述べた文として適切なものはどれか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. サンゴ礁などが堆積してできた石灰岩の台地が雨水で浸食されて形成され、現在はセメントの原料として石灰石の採掘も行われている。
2. 河川が運んできた土砂が長い年月をかけて積もって形成され、現在はその水はけの良さを活かした果樹園が広がっている。
3. 激しい火山活動によって噴出した溶岩が平坦に固まって形成され、現在はその広大な土地を活かして牧畜が行われている。
4. 海底が急激に隆起してできた砂岩の地層が波の浸食を受けて形成され、現在は国立公園として観光利用のみに制限されている。
- 問7 中国・四国地方では、中国山地と四国山地という2つの山地が並行するように位置しています。この地形的条件が瀬戸内地方の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 冬は北西からの季節風が中国山地に、夏は南東からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
2. 冬は南東からの季節風が中国山地に、夏は北西からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
3. 年間を通じて強い北西の季節風が吹き続けるため、雲が山地を越えてしまい、瀬戸内沿岸には雨が降らなくなる。
4. 冬は北西からの季節風が四国山地に、夏は南東からの季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が多くなる。
- 問8 中国・四国地方の白地図において、瀬戸内海に面した中国地方西部の地域に位置する県の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 県庁所在地の山口市に、国宝の五重塔で知られる瑠璃光寺がある。
2. 県庁所在地の松江市に、国宝の城郭である松江城がある。
3. 県庁所在地の岡山市に、日本三名園の一つである後楽園がある。
4. 県庁所在地の広島市に、世界文化遺産である原爆ドームがある。
- 問9 広島県周辺の統計において、広島市のような都市部と大崎上島町のような離島部を比較した際、現在の離島部に見られる人口や世帯構成の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 総人口が減少する過疎化が進む一方で、高齢化率が都市部より高く、高齢者の独り暮らしによる単身世帯の割合も増加傾向にある。
2. 合計特殊出生率が急激に上昇したことで、15歳未満の人口割合が都市部を上回り、単身世帯の割合は減少している。
3. 若年層の流入により核家族化が進んでいるため、高齢化率は低く抑えられており、単身世帯の割合も都市部より低い。
4. 都市部からの高齢者の移住が相次いでいるため、総人口は増加しており、それに伴って単身世帯の割合も急激に低下している。
- 問10 日本の諸都市の気候について述べた次の説明のうち、香川県高松市の統計データの特徴として最もよく合致するものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 1年を通じて気温が低く、夏でも月平均気温が20度を少し上回る程度であり、降水量は8月から9月にかけての台風シーズンに集中する。
2. 年間の合計降水量が1,100mm程度と全国的にも少なく、夏や冬の時期を含め、一年を通じて極端に降水量が増える月がほとんど見られない。
3. 冬の時期に降水量が集中し、北西からの季節風の影響で毎日雪や雨が降るが、夏はフェーン現象の影響で気温が非常に高くなる。
4. 夏の降水量が非常に多く、梅雨や台風の影響で1ヶ月の降水量が500mmを超えることもあるが、冬は乾燥して晴天が続く。
- 問11 ある県の産業統計において、製造品出荷額が約6兆円と周辺の県に比べて突出して高く、その内訳では化学工業が約1.8兆円と大きな割合を占めているという特徴があります。1,504kmに及ぶ長い海岸線を持ち、漁業生産量も一定の規模を保っているこの県はどこですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 愛媛県 2. 広島県 3. 山口県 4. 和歌山県
- 問12 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
2. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。
3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
4. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。